

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

- 黙祷 ..... 御言葉に耳を傾け、心を主に向けましょう。
- \*賛美 ..... 453番
- \*交読文 ..... 24番
- \*使徒信条 ..... 会衆一同
- \*頌栄 ..... 105番
- 礼拝のための祈り ..... 川合ゆきえ姉妹
- 賛美 ..... 442番
- メッセージ ..... 主は私達の羊飼い(詩篇23篇)
- 御言葉を適用する祈り .. 会衆一同
- 賛美 ..... 305番
- 献金感謝の祈り ..... パスター
- 報告と歓迎 ..... 12月31日 午後9時半より、当教会にて年越し礼拝を行います。軽食や宿泊の用意もありますので、ご自由にご参加下さい。
- \*主の祈り ..... 会衆一同
- \*祝祷 ..... パスター

祈祷課題

- この教会が神の御声を聞いて御心を行う教会となるように
- 病、貧しさ、悲しみの内にある兄弟姉妹のために
- 兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- 主に忠実で御霊に満ちた奉仕者が70名与えられるように
- 終末の災いに実際に直面している兄弟姉妹の守りのために

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

主よ。まことにあなたはいつくしみ深く、赦しに富み、あなたを呼び求めるすべての者に、恵み豊かでられます。主よ。\_\_\_\_\_の祈りを耳に入れ、\_\_\_\_\_の願いの声を心に留めてください。

\_\_\_\_\_は苦難の日にあなたを呼び求めます。あなたが答えてくださるからです。主よ。神々のうちで、あなたに並ぶ者はなく、あなたのみわざに比ぶべきものはありません。主よ。あなたが造られたすべての国々はあなたの御前に来て、伏し拝み、あなたの御名をあがめましょう。まことに、あなたは大いなる方、奇しいわざを行なわれる方です。あなただけが神です。主よ。あなたの道を\_\_\_\_\_に教えてください。\_\_\_\_\_はあなたの真理のうちを歩みます。\_\_\_\_\_の心を一つにしてください。御名を恐れるように。(詩篇 86:5-11)

いよいよ今年最後の礼拝である。今までを振り返るに、まことに主が羊飼いとなって導いて下さった。「主は私の羊飼い。私は、乏しいこと(欠乏)がありません。」(詩篇 23:1)

羊は弱く愚かな動物で、もし羊飼いたる人がいなかったら、とうの昔に絶滅していただろうと言われている。同じようにこの教会も、主イエス・キリストを羊飼いとしていなかったなら、とうの昔に滅んでいただろう。ダビデ王も、主が、自分の羊飼いである事を告白した。彼自身、元々羊飼いだった。羊を緑の牧場や水のほどりへ導いた事もあるし、羊を守るためライオンや熊と戦った事もある。それで彼は、羊の弱く愚かな性質を、守り養わなければならない事を、よく知っている。彼は、自分は弱く愚かな羊のような存在である事を認め、そして、主を羊飼いとした。その結果、彼はこの詩を詠んだ日に至るまで一切の欠乏は無かったし、これからも決して無い、と、告白している。私達も、主を羊飼いとするなら、一切の欠乏は無い。「いや、自分は主を羊飼いとして来たけれど、欠乏ばかりだった」と言う人は、自分が望んでも与えられなかったもの、というのは、実は有害なもので、むしろ主が羊飼いとして、それらに毒されぬよう、今まで守っておられた事を、そして、自分はそれさえ見えなかった、無知な羊であった事を、悟るべきである。

「主は私を緑の牧場に伏させ、いこいの水のほどりに伴われます。主は私のたましいを生き返らせ、御名のために、私を義の道に導かれます。」(2-3 節)

羊は目が悪いため、自分で食べ物や飲み物を探しに行けない。同じように、私達も未来は分からず、この先に何が待ち受けているかを知らない。だから未来も最善も全てを見通す主を羊飼いとする必要がある。主は、導く。義の道へと。主は、伴われる。緑の牧場と、憩いの水のほどりへと。人にとって、真のたましいの潤いは、主から来る。私達が主の導きに従って歩むのであれば、私達は決して飢える事も渴く事も無い。

「たとい、死の陰の谷を歩くことがあっても、私はわざわざ(悪)を恐れません。あなたが私とともにおられますから。あなたのむちとあなたの杖、それが私の慰めです。」(4 節)

私達はできれば死の陰の谷は歩みたくないものだが、しかし主は、敢えてそこを通らせる事もある。この一年、ある聖徒にとっては、死の陰の谷を通らされたような状況もあったし、今まさに通っている最中の聖徒もいる。しかし主は、無意味に、死の陰の谷を通らせる訳ではない。その向こうに最善があるからだ。「あなたがたが、色々な試練に会った場合、それをむしろ非常に喜ばしいことと思いなさい。」(ヤコブ 1:2)

主がわざわざそこを通らせているという事は、想像もつかないスペシャルな未来がその先にあるという事だ。「私の敵の前で、あなたは私のために食事をととのえ、私の頭に油をそそいでくださいます。私の杯は、あふれています。まことに、私のいのちの日の限り、いつくしみと恵みが、私を追って来るでしょう。私は、いつまでも、主の家に住まいましょう。」(5-6 節)

私達が主を羊飼いとしているなら、主は敵の面前で私達に宴席を設けて下さり、頭に油を注いで下さる。主を羊飼いとしているなら、恵みと慈しみとの方が、私達を追いかけて来る。しかし、主を羊飼いとしていないなら、敵の前で逆に冷や水を浴びせられ、恵みと慈しみを追いかけても追いかけても、それは逃げてしまっ、決して追いつく事はない。主イエスの元にこそ、恵みといつくしみが豊かにあり、他には無いのだ。(1歴代 16:34、詩篇 86:5、118:1)

ヨハネ 10 章には、良き羊飼いなる主イエス様と、私達・羊との間の正しい関係がある。(ヨハ 10:1-6)

羊飼いは、自分の羊の名を呼んで連れ出して先頭を歩き、羊は、羊飼いの声を聞き分け、ついて行く。その逆は無いのだ。羊は、目が悪い。だから羊は目に頼らず、耳に頼る。同じように私達も、主の御声であられる御言葉によく耳を傾け、ついて行くなら、乏しい事も、飢える事も渴く事も決して無く、死の陰の谷のさなかでも安全に導かれ、やがては、いこいの水のほどりへ、緑の牧場へと導かれ、敵の目前で宴席が設けられ、頭に油が注がれる。そして、恵みと慈しみとが、ついてまわる。来る2014年は、何が起きるのか私達には分からないが、ひとつ確かな事、それは、主を羊飼いとして私達がついて行くなら、この詩篇23篇の祝福が、私達のほうを追いかけて来るという事だ。今までのように。

# 横浜天声キリスト教会

## 礼拝 週報



### 集会案内

各礼拝はインターネットでライブ中継しております → <http://ustre.am/Ydeh> (Yは大文字)

#### 日曜礼拝

1部礼拝(韓国語通訳有) 10:30  
食事/フェローシップ 12:00～  
2部礼拝 14:00  
聖書の学び会(箴言) 15:00

金曜徹夜祈禱会 21:00～

#### 日々の集会

月～金 早天祈禱会 5:00～  
火・木・金 賛美と祈りの集会 13:00～  
火～木 夜の祈禱会 19:30～

#### 水曜集会

1部 13:00～  
2部 19:30～

### アクセス

横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅  
6番B出口を出てまっすぐ徒歩5分  
JR・関内駅より徒歩10分  
京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿い、  
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、  
1Fがファミリーマートになっております。



聖書メッセージを携帯で  
聖書メッセージをメールで  
毎日携帯にお届けします。  
左記コードを読み込み、  
空メールを送信するだけ！



〒231-0058

パスター: 林和也

神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストークタワー大通公園 I -201

TEL/FAX: 045-326-6211

Homepage: <http://voh.plala.jp/>

email: [ephes\\_03-tensei@yahoo.co.jp](mailto:ephes_03-tensei@yahoo.co.jp)



モバイルサイト